

# 鴻島 NEWS

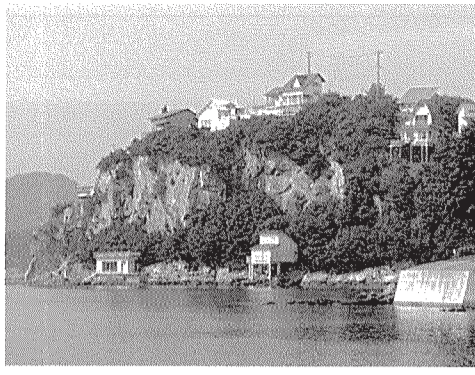
第19号

-2010-

中央地区  
自治会  
広報委員会

ごあいさつ

中央地区別荘自治会長 長瀬直



■船隠の風景

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

今年も元気に鴻島をそれぞれに楽しもうではありませんか。

## 総会報告

第19回鴻島中央地区別荘自治会定時総会が5月2日(日)に日生小学校鴻島分校講堂において開催されました。

出席者、委任状を頂いた方々で104名(81%)となり総会は成立致しました。総会は21年度会計報告より始まり会計の森さんより報告されました。その後寺浦さんより監査の報告があり出席者全員により承認されました。その後会長、役員の内任が決まり平成22年度予算が出席者全員の支持により成立致しました。引き続き事務局大里さんより別荘内の諸事情や、会員数の現状等の報告など議事があり無事総会も終了致しました。そして出席者全員参加による大懇親会が今年も盛大に開催されました。楽しい時間はまたたく間に過ぎて又、会員同士来年の再会を約束して中メめとなり、皆様散々午後には帰りました。

## 事務局よりお知らせ

鴻島ではゴミの分別収集が行われています。まだ一部の方が、指定通りに行っていない。自治会では、収集業者に補助金を月5万円支払って、指定通りになっていないゴミも回収してもらっています。皆様のまわりの方々にもルールを守るようにお互いに気を配って下さい。



## ゴミ袋の販売

会員の方々より備前市指定ゴミ袋の販売先が分からないとの意見がありましたので、今後、民宿たこぼさんの協力を得て自治会委託により、備前市指定ゴミ袋をたこぼさんにて販売して頂く事となりました。ぜひご利用下さい。

## ゴミの収集日

- ・生ゴミ(可燃物)を備前市指定ゴミ袋(30枚1, 350円)に入れて出す
- ・従来の黒かスーパリーの袋ではゴミは持つていかなないので使わないこと
- ・缶・ビン(不燃物)は透明な袋に入れること
- ・ペットボトルはラベル・金属フタ等を取り透明な袋に入れること
- ・以上別々にゴミ袋に入れてください
- ・ゴミ袋に大型ゴミや電気製品の投入は止めてください



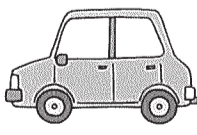
## ★会員でない人に 申し上げます。

自治会活動は会員の負担で行われています。別荘地も23年たち道路の補修や溝掃除も会費でまかっています。持主が売買によって替わった場合や知らない会員外の人たちは何も負担していません。道路や溝や車の撤去や水道の破損も全て会員たちの負担なのです。折角手に入れた別荘も公共性は高いのです。皆様相応の負担をします。島を利用するにはぜひ、会員になって頂きたいと思えます。ご近所で持主が替わった方にはぜひ説明して下さいます。



## ★車両放置は絶対にやめて下さい。

今季は、車両の撤去を致しません。だんだん増えて通行の邪魔になっています。撤去費用は自治会で負担しています。中央地区で約20軒の人が会員ではありません。皆様の隣近所で会員外の人々が車の使用をしている時、その後放置がないかよく注視して下さい。放置がわかれれば自治会で注意したいと思えます。



## ★火事の予防のお願い

鴻島では過去23年間に6回の火事が起こっています。特に強風が急に吹く事もあり、ゴミや落葉等のたき火は絶対しない様に気を付けて下さい。お互いに注意しましょう。



## おねがい

別荘を売却された方は次の購入者の氏名、住所を事務局大里までご連絡ください。

市に問い合わせても個人情報守秘義務等の理由により、情報を得ることができません。ご協力の程、宜しくお願いします。

連絡先：〒662-0828 西宮市門戸西町9-38 TEL：0798-53-2454 大里二郎(事務局)

## 役員名簿(平成22年度)

- (会長) 長瀬直
- (副会長) 樽家紀之・森田考
- (会計) 森 啓充
- (監査) 寺浦格・樽家紀之
- (事務局) 〇七九八五三二四五四 大里二郎
- (理事〔再任〕) 桑原高己・浅島俊男・米田稔・西野健一・黒岩功・六田伸彦・森田七男・高橋健造

(順不同)

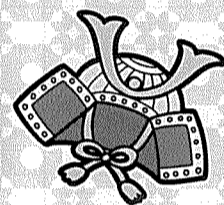
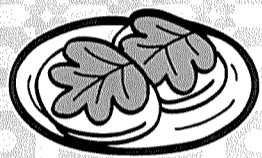
会計報告 削除

# 盛り上がる 22年度 総会風景

会議は踊る



楽しい懇談会



## 文化財探訪 ～訪ねてみよう、郷土の文化財～

### 山陽道 1

山陽道は、古代に都と筑紫（大宰府）を結ぶ官道として整備され、大宰府道・筑紫大道とも呼ばれていました。中世になると、官道としての性格は失われましたが、一部道筋を変えながら、陸上交通路として重要な役割を担い続けました。

古代山陽道には中央と地方を緊密に結ぶため、「駅制」と呼ばれる通信制度が設けられ、30里（約16km）ごとに「駅家」が配置されていました。備前国には、坂長（三石）、珂磨（赤磐市）、高月（赤磐市）、津高（岡山市）の4駅が置かれていました。

これらをつなぐ経路は、船坂峠を越えて三石から西へ向かい、吉永町金谷、和気郡藤野、泉、大田原を通り吉井川を越え、赤磐市松木、可真、下市、馬屋を経て岡山市の牟佐へ至っていました。

鎌倉時代になると、律令制度の崩壊とともに「駅制」も存在しなくなります。沿道には駅家に代わる「宿」と呼ばれる集落が交通の要地に形成されるようになります。

また、経路も船坂峠を越えて、三石、八木山、木谷、伊里中、東片上、西片上、伊部、大内、香登本、香登西、坂根を通り、瀬戸内市長船町から吉井川を渡る経路に変わっていきました。経路が変わったのは、方上津（片上津）や福岡市が発展してきたことが関係しています。

江戸時代になると、「街道」が整備され、それまで上方中心であった交通体系が江戸中心へと変わり、山陽道は脇街道に位置づけられました。

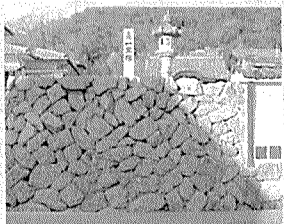
寛永12(1635)年に参勤交代が始まると、宿駅、一里塚の設置、宿場町の形成などが整えられ、岡山県内では三石、片上、藤井、岡山、板倉、川辺、矢掛、七日市、高屋の9宿が置かれました。三石と片上には本陣と脇本陣が置かれ、山陽道は大名の参勤のための交通路として重要な役割を担っていました。

#### 【参考文献】

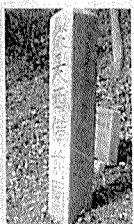
和気郡史通史編中巻Ⅱ  
和気郡史資料編下巻  
歴史の道調査報告書  
山陽道



熊山道道標



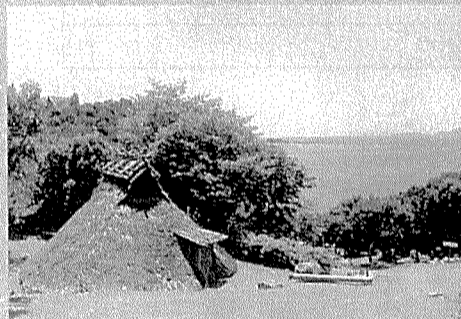
香登一里塚



播備国境の標石

## びぜんに泊まろう

### 日生鹿久居島古代体験の郷 「まほろば」



「まほろば」は備前市の最も南東、瀬戸内海に浮かぶ、周囲28kmの岡山県下最大の島「鹿久居島」にある「宿泊・体験型」の施設です。

鹿久居島は日生諸島の中でも有史以前の自然環境を色濃く残した島であり、今なお野生の鹿が数多く生息する島です。

「まほろば」は、その島の播磨灘を一望できる見晴らしの良い丘陵地にあります。東京ドームのグラウンド9個分という広大な敷地の各所には、古代の集落をほうふつとさせる茅葺（かやぶき）屋根の高床式住居や竪穴式住居などの建物が再現され、実際にそれらの建物に寝泊りすることで、古代からの知恵や生活を体験することができます。

日帰り・宿泊を問わず、施設の敷地内の砂浜で海水浴やカヌーなどが楽しめ、屋内では火起こしや土器作りなどの体験をすることができます。もちろん、用意された体験メニューに頼らず、のんびりと自然散策をしながら、ゆるやかに流れる島の時間を感じ、悠久の浪漫に想いを馳せるのも良いのではないのでしょうか… これからの季節は運が良ければ産まれたての子鹿を見ることができるかもしれません。



#### ◆施設の利用

施設の利用は完全予約制となっており、1日2往復の「まほろば直行便船」以外での来郷は大変困難となっています。施設のご利用を希望の方は、必ず事前に電話でお問い合わせ願います。

#### 【問い合わせ先】

現地管理事務所 ☎72-1000 10時～16時



最新情報はこちら

⇒ <http://www.ikoi-okayama.com/mahoroba.html>